

月刊 サンエスウォッチング Vol.19

「ワンバイエス スーージーデザインの変遷」



第2章 スーージーデザインの発展



ヨゼフシステム
1インチモデル最初の
アルミ切削プロトタイプ



カーボンスーージーシステム
フルカーボンボディで
設計したモデルの図面



スーージーシステムは発表直後から、ポジションや見栄えなどに悩む多くのライダーはもとより、インプレ記事などでも「こんなステムが欲しかった・・・」と高評価を得ました。同時にヘッドが1インチのスチールフレームに合うモデルを出して欲しいとの強い要望を受けることにもなり、開発を続け翌年発表した「ヨゼフシステム」は、スーージーを継承したスレッドレスのアルミ1インチコラム・26.0mm ハンドルクランプ対応という、世の中にほぼ無いであろう仕様のモデルに仕上がりました。近年の1インチスチールフレーム御用達システムとなりました。

2017年にはカーボンモデル「カーボンスーージーシステム」を発表、ロードレーサー向けの3モデルが揃い、翌年にはオフロード向けのグランジ「レンジャーシステム」の発表に至りました。コラムボルトやトップキャップなどの関連アクセサリも増えて、スーージーデザインを核に更に広がりを見せています。



レンジャーシステム
オフロード向けモデルは
専用トップキャップで
トップがフラットに



スーージーコラムボルト



スーージートップキャップ



ヨゼフトップキャップ
&ヘッドスペーサー

2020年スタートの新チーム「SAITAMA DReVe さいたまディレーブ」にスーージーシステムが採用されます



ピアンキにセットされたスーージーシステムは精悍なレースポジションを生む



ハンドルにはジェイカーボンシリーズを採用

「さいたまディレーブ」は、さいたま市に拠点を置く地域密着型のチーム。所属選手10名で、チームバイクにはピアンキの「Bianchi Oltre XR3」が採用され、本年からJプロツアーに参戦します。

スーージーシステムのデザインはカーボンレーシングバイクを使用する日本人選手もレースポジションが出しやすいとのこと。

選手達はワンバイエスのカーボンハンドル「ジェイカーボン・スーパーアグリー・ネクスト VDS・グランモンロー SL」を使用します。

VIVA ～自転車万歳！！～ (連載コラム：全12回)

【第5回】

VIVAの中でも比較的新しい商品としてパンクあんしん袋があります。これはサイクリング中に起きるかもしれないパンクに対して「安心」に繋がりますようにという気持ちを込めて作りました。

昨年、俳優の火野正平さんがある自転車旅番組でVIVAのバックサポーターとキャラダイスのサドルバッグを付けて走る後ろ姿にパンクあんしん袋が仲間入りしているのを見つけました。正平さんの旅のお供をしている光景を見ると、パンクあんしん袋が羨ましくもあり、どんな風景を見るのだろうと想像し、心がほっこりします。

長い距離でもいい、身近なところでもいい。どこを走ろうとも季節を感じ、その土地を感じる、それぞれの自転車旅万歳！！



袋の中にはのり付パッチが入っています♪

年も明け2020年オリンピックイヤーになりました。トラック・ロード・MTB・BMXなど多数の種目があり楽しみにしています。

自転車は身近で、趣味、健康増進、物を運ぶなどと様々で自分自身の生活には欠かせないものです。

歩くよりも楽に遠くに行ける自転車ならではの自由自在な速度は、小さな何気ない気づきと人とのふれあいを与えてくれ、私の人生を豊かにしてくれています。皆様の人生も自転車があることで心豊かになりますように願っています。

代表取締役 坂井美紀

● 次回、月刊サンエスウォッチング Vol.20 は 2020年2月14日(金)の配信予定です。

TOKYO SAN-ESU CO.,LTD.